

熱中症での緊急搬送状況過去5年間のデータを示せ

70歳から89歳が増加傾向にある



稲留 光晴 議員

全国各地で記録的な猛暑に襲われ日本歴代最高気温41.1度を埼玉熊谷市で記録した。気象庁も、命の危険のある暑さはひとつの災害と認識していると述べた。データから改めて考えられることは何か。

特に70歳から89歳高齢者が熱中症になっている

町長

年々気温が上昇してきているということであり、自然災害ととらえている。特に70歳から89歳高齢者が熱中症になっている。

熱中症対策は具体的にどう取り組んできたか

稲留議員

行政としてどのような取り組みをしてきたか。

大崎町在住 熱中症調査 総括表 (保健福祉課資料 H30/12/6 現在)

項目/年度		H26年度		H27年度		H28年度		H29年度		H30年度	
総件数		11		13		20		20		26	
性別	男性	9	8	12	10	18					
	女性	2	5	8	10	8					
傷病程度	軽症	4	6	13	12	13					
	中等症	7	6	6	8	11					
	重症	1	1	1	2	2					
覚知時間	0~8時	2	3	2	5	7					
	8~10時	1	2	2	6	6					
	10~14時	2	2	8	9	7					
	14~18時	6	3	5	3	6					
	18~24時	6	6	4	6	6					
年齢別	0歳~19歳		1	1	1	3					
	20歳~29歳			1	2	1					
	30歳~49歳		2	1	4	1					
	50歳~69歳	1	1	7	5	7					
	70歳~89歳	8	7	9	8	14					
	90歳以上	2	2	1		1					
月別	5月		2	1	2	1					
	6月	1		3	2	1					
	7月	4	6	7	9	12					
	8月	3	5	6	5	9					
	9月	3		3	2	2					
	12月					1					

防災無線や、サロン活動にて周知をはかってきた

保健福祉課長

県、保健所からの熱中症予防策については防災行政無線や、町の広報紙や高齢者サロン活動のなかで説明をしている。

公共施設でのエアコン設置状況はどうなっているか

稲留議員

小中学校のエアコン設置状況はどうなっているか。

30年度すべての小中学校への設置をすすめている

教育長

小学校6校は特別教室を除くすべての教室に設置し、中学校は技術室、調理室などの特別教室の一部を除くすべての教室と音楽室に設置することとしている。

転入・転出の過去5年間の推移を示せ

稲留議員

定住化策の指標として転入を増やし転出を抑えることにあると考えるがその推移を示せ。

5年間で497人の社会減である

町長

転入と転出による社会増減は25年度126人の減。26年度102人の減。27年度16人の減。28年度190人の減。29年度63人の減であり、5年間で497人の社会減となっている。

転入・転出 5年間の推移 (外国人を含む)

年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	総計
転入	544	568	641	565	588	2906
転出	670	670	657	755	651	3403
増減	-126	-102	-16	-190	-63	-497

出典：住民環境課

雇用策として本町の対策を示せ

稲留議員

働き口を増やしてこそ転出を抑えられる。雇用策を示せ。

若者が定着してくれる環境づくりに努力する

町長

リサイクル奨学金制度などアピールし、定着してくれる環境づくりと、企業に雇用枠を増やしてもらおう努力を今後も続けていく。